

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 3月 5日

事業所名 生江障害者会館

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			曜日等活動に合わせて環境設定をしています。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		配置数は、満たしているが個別対応しなければいけない時に不足を感じます。その都度増員できる時は増員して対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			児童が集中しやすいようパーテーションを利用しています。より安全で利用しやすい環境整備を目指します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1		個別支援計画、アセスメントにおける会議の実施、ケース会議などを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			意向を把握し、改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			おたより・ホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		現在は利用者家族と社内の評価のみとなっておりますが、今後は、外部委託も検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			月1回以上計画的に研修を実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			定期的に保護者面談を行いニーズを把握しています。行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。計画作成後は、ご家族に説明し署名捺印頂いています。
	10	子どもの適応行動の状況把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			アセスメントツールを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3		ベテラン職員の経験をベースに、新人職員の意見を取り入れたプログラムを展開しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3		曜日によっては、プログラムを固定しています。前回の活動内容と重ならないよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		休日・長期休暇時は、外出活動や調理実習を取り入れています。多機能事業所の強みを活かし、就労継続支援B型への体験実習を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			ご家族、児童の意向に沿って計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			事前に確認と担当割り振りを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1		ミーティングの中で支援の振り返りと情報の共有をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	5		相互で確認して質を高めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			必要に応じて見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			実施できるように取り組んでいます。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		できるかぎり、家族・学校関係者・相談員・放課後デイ責任者が連携を図り、サービス担当者会議に参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		ご家族さんより、行事予定事項を頂いています。学校とも連絡を取り情報共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1	該当する児童は、在籍していません。受け入れの際は、主治医等と連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		7	現在は、できていません。今後は、できるようにと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		ご家族さんに、了承いただいてから情報共有を行っている方もいます。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	エルム大阪さんの研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	今年度は、地域のイベントが中止となり交流が出来ませんでした。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6	1	できるかぎり参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳や送迎時、電話等で情報共有を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	情報共有アドバイスを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明を行っています。また、変更点等あれば随時サービス管理責任者より説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		経験あるスタッフが様々な目線で助言と支援をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	コロナ渦でできていません。以前のように行事等で集まり、保護者間で関わり合う機会を設けていきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		申し入れがあった際、電話や直接面談にて適切に対応するよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		月1回定期新聞発行にて、活動の様子を伝えています。
	35	個人情報に十分注意している	7		個人情報に関する書類は、鍵付きの保管庫に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	コミュニケーションボードを活用した意思疎通をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	毎年実施していた夏祭り秋祭りが中止となり、招待ができませんでした。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		感染症対策委員会を軸にマニュアルの追記や、研修を実施しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		月1で防災訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		外部研修の参加と、年間研修スケジュールに沿って年2回の虐待に関する研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		同意書を取っています。個別支援計画に記載し十分な説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	契約時、モニタリング等で変わりないか確認をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	月1の事故防止委員会にて、事例を持ち寄り共有精査しています。